

令和 4 年 度

仙 北 市 下 水 道 事 業 会 計 予 算

秋 田 県 仙 北 市

目 次

I 予 算

- (1) 令和4年度仙北市下水道事業会計予算 3

II 予算に関する説明書

- (1) 令和4年度仙北市下水道事業会計予算実施計画 8
- (2) 令和4年度仙北市下水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書 17
- (3) 給与費明細書 18
- (4) 債務負担行為に関する調書 22
- (5) 令和3年度仙北市下水道事業予定損益計算書 23
- (6) 令和3年度仙北市下水道事業予定貸借対照表 24
- (7) 令和4年度仙北市下水道事業予定貸借対照表 26
- (8) 注記事項（令和3年度） 28
- (9) 注記事項（令和4年度） 31

令和4年度仙北市下水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和4年度仙北市下水道事業会計予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 排水(処理)戸数	5,181 戸
(2) 年間排水量	1,253,855 m ³
(3) 一日平均排水量	3,435 m ³

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第1款 下水道事業収益		534,191 千円
第1項 営業収益		124,633 千円
第2項 営業外収益		409,556 千円
第3項 特別利益		2 千円
第2款 集落排水事業収益		232,196 千円
第1項 営業収益		42,683 千円
第2項 営業外収益		189,511 千円
第3項 特別利益		2 千円
第3款 浄化槽事業収益		91,279 千円
第1項 営業収益		31,302 千円
第2項 営業外収益		59,975 千円
第3項 特別利益		2 千円
収 入 合 計		857,666 千円

		支			出
第1款	下水道事業費用		538,765	千円	
第1項	営業費用		491,176	千円	
第2項	営業外費用		46,087	千円	
第3項	特別損失		2	千円	
第4項	予備費		1,500	千円	
第2款	集落排水事業費用		295,358	千円	
第1項	営業費用		270,141	千円	
第2項	営業外費用		24,015	千円	
第3項	特別損失		2	千円	
第4項	予備費		1,200	千円	
第3款	浄化槽事業費用		89,527	千円	
第1項	営業費用		83,864	千円	
第2項	営業外費用		4,661	千円	
第3項	特別損失		2	千円	
第4項	予備費		1,000	千円	
	支出合計		923,650	千円	

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 209,902千円は当年度分損益勘定留保資金 206,322千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 3,580千円で補てんするものとする。）。

		収			入
第1款	下水道事業資本的収入		233,454	千円	
第1項	企業債		115,100	千円	
第2項	出資金		117,852	千円	
第3項	負担金等		502	千円	
第2款	集落排水事業資本的収入		179,338	千円	
第1項	企業債		9,300	千円	
第2項	出資金		166,738	千円	
第3項	繰入金		3,300	千円	
第3款	浄化槽事業資本的収入		9,975	千円	
第1項	出資金		9,975	千円	
	収入合計		422,767	千円	

支		出	
第1款	下水道事業資本的支出	395,825	千円
第1項	建設改良費	34,039	千円
第2項	固定資産購入費	1	千円
第3項	企業債償還金	359,784	千円
第4項	投 資	1	千円
第5項	予 備 費	2,000	千円
第2款	集落排水事業資本的支出	210,193	千円
第1項	建設改良費	5,825	千円
第2項	固定資産購入費	1	千円
第3項	企業債償還金	203,366	千円
第4項	投 資	1	千円
第5項	予 備 費	1,000	千円
第3款	浄化槽事業資本的支出	26,651	千円
第1項	企業債償還金	26,651	千円
支 出 合 計		632,669	千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
水洗便所等改造 資金利子補給金 (令和4年度貸付分)	令和4年度から 令和8年度まで	借入期間中における取扱金融機関との 利子補給契約にもとづく利子相当額

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
下水道事業費	25,100 千円	証書借入 又は 証券発行	4.0%以内 (ただし、利率 見直し方式で借 り入れる資金に ついては、当該 見直し後の利 率)	政府資金については、その融 資条件により、銀行その他の 場合にはその債権者と協定す るものによる。ただし、企業 財政の都合により据置期間及 び償還期限を短縮し、若しく は繰上償還又は低利に借換え することができる。
下水道事業 資本費平準化債	90,000 千円			
集落排水事業費	4,300 千円			
集落排水事業 資本費平準化債	5,000 千円			

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、500,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 同一款内における金額の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職 員 給 与 費 31,014 千円

(他会計からの補助金)

第10条 事業安定のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、142,967千円である。

〈内訳〉

下 水 道 事 業	80,900 千円
集 落 排 水 事 業	32,249 千円
浄 化 槽 事 業	29,818 千円

(たな卸資産購入限度額)

第11条 たな卸資産の購入限度額は、3,790千円と定める。

令和4年2月15日 提出

秋田県仙北市長 田 口 知 明

予 算 に 関 す る 説 明 書

令和4年度仙北市下水道事業会計予算実施計画
収益的収入及び支出

収 入

款	項	目	予定額(千円)	備 考
1 下水道事業収益			534,191	
	1 営業収益		124,633	
		1 下水道使用料	124,582	公共下水道使用料等
		2 その他の営業収益	51	上記以外の収益
	2 営業外収益		409,556	
		1 受取利息金及び配当金	17	預金利息、配当金
		2 他会担計金	189,331	繰出基準に基づく一般会計繰入金
		3 他会助計金	80,900	使用料等で賄えない部分に係る一般会計繰入金
		4 長期前受金入	138,502	長期前受金の減価償却見合い分を収益化したもの
		5 雑収益	1	その他雑収益
		6 消費税及び地方消費税還付金	805	
	3 特別利益		2	
		1 過年度損益	1	
		2 その他の特別利益	1	

款	項	目	予定額 (千円)	備 考	
2 集落排水事業収益	1 営 業 収 益		232,196		
		1 下 水 道 使 用 料	42,683		
		1 下 水 道 使 用 料	42,177	農業集落・林業集落排水施設使用料	
		2 他 会 計 負 担 金	505	繰出基準に基づく一般会計繰入金	
	3 そ の 他 営 業 収 益	1	上記以外の収益		
	2 営 業 外 収 益			189,511	
		1 受 取 利 息 及 び 配 当 金	2	預金利息	
		2 他 会 計 負 担 金	53,509	繰出基準に基づく一般会計繰入金	
		3 他 会 計 補 助 金	32,249	使用料等で賄えない部分に係る一般会計繰入金	
		4 長 期 前 受 金 入	103,749	長期前受金の減価償却見合い分を収益化したもの	
		5 雑 収 益	1	その他雑収益	
		6 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 還 付 金	1		
	3 特 別 利 益			2	
		1 過 年 度 損 益 修 正	1		
		2 そ の 特 別 利 益	1		

款	項	目	予定額 (千円)	備 考	
3 浄化槽事業収益	1 営業収益		91,279		
		1 下水道使用料	31,302		
		2 その他の収益	31,301	浄化槽使用料	
	2 営業外収益		1	1	上記以外の収益
		1 受取利息及び配当金	59,975		
		2 他会担計金	1	1	預金利息
		3 他会助計金	19,123		繰出基準に基づく一般会計繰入金
		4 長期前受金戻	29,818		使用料等で賄えない部分に係る一般会計繰入金
		5 雑収益	11,031		長期前受金の減価償却見合い分を収益化したもの
		6 消費税及び地方消費税還付金	1	1	その他雑収益
	3 特別利益		2		
		1 過年度損益修正	1	1	
		2 その他の利益	1	1	
	事業収益			857,666	

支 出

款	項	目	予定額 (千円)	備 考	
1 下水道事業費用			538,765		
	1 営業費用			491,176	
		1 管 渠 費	17,508	管路の維持管理に要する費用	
		2 処 理 場 費	61,264	処理施設の維持管理及び排水処理に要する費用	
		3 総 係 費	31,201	事業活動の全般に関連する費用	
		4 流 域 下 水 道 維持管理負担金	76,832	雄物川流域下水道（大曲処理区）の維持管理に係る負担金	
		5 減 価 償 却 費	304,312	固定資産の減価償却費	
		6 資 産 減 耗 費	3	固定資産の除却損及び撤去費	
		7 その他営業費用	56		
	2 営業外費用			46,087	
		1 支 払 利 息 及 び 企業債取扱諸費	45,176	企業債等の利息	
		2 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	910		
	3 特別損失			2	
		1 過年度損益修正損	1		
	4 予 備 費			1,500	
		1 予 備 費	1,500		

款	項	目	予定額 (千円)	備 考
2 集落排水事業費用			295,358	
	1 営業費用		270,141	
		1 管 渠 費	5,878	管路の維持管理に要する費用
		2 処 理 場 費	43,701	処理施設の維持管理及び排水処理に要する費用
		3 総 係 費	16,587	事業活動の全般に関連する費用
		4 減 価 償 却 費	203,922	固定資産の減価償却費
		5 資 産 減 耗 費	2	固定資産の除却損及び撤去費
		6 その他営業費用	51	
	2 営業外費用		24,015	
		1 支 払 利 息 及 び 企業債取扱諸費	23,657	企業債等の利息
		2 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	357	
		3 雑 支 出	1	
	3 特別損失		2	
		1 過年度損益修正損	1	
		2 その他特別損失	1	
	4 予 備 費		1,200	
		1 予 備 費	1,200	

款	項	目	予定額(千円)	備考	
3 浄化槽事業費用	1 営業費用		89,527		
			83,864		
		1 浄化槽費	53,110	浄化槽の維持管理に要する費用	
		2 総係費	4,920	事業活動の全般に関連する費用	
		3 減価償却費	25,816	固定資産の減価償却費	
		4 資産減耗費	2	固定資産の除却損及び撤去費	
		5 その他営業費用	16		
	2 営業外費用			4,661	
		1 支払利息及び 企業債取扱諸費		4,260	企業債等の利息
		2 消費税及び 地方消費税		400	
		3 雑支出		1	
	3 特別損失			2	
		1 過年度損益修正損		1	
		2 その他特別損失		1	
	4 予備費			1,000	
		1 予備費		1,000	
事業費用			923,650		

資本的収入及び支出

収 入

款	項	目	予定額 (千円)	備 考
1 下水道事業 資本的収入			233,454	
	1 企業債		115,100	
		1 企業債	115,100	管渠整備事業 14,200 千円 流域下水道 10,900 千円 資本費平準化債 90,000 千円
	2 出資金		117,852	
		1 一般会計出資金	117,852	市単独事業費に係る 一般会計繰入金 10,438 千円 元金償還に係る 一般会計繰入金 107,414 千円
	3 負担金等		502	
1 受益者負担金		502	受益者負担金 502 千円	
2 集落排水事業 資本的収入			179,338	
	1 企業債		9,300	
		1 企業債	9,300	マンホールポンプ更新 4,300 千円 資本費平準化債 5,000 千円
	2 出資金		166,738	
		1 一般会計出資金	166,738	市単独事業費に係る 一般会計繰入金 2,525 千円 元金償還に係る 一般会計繰入金 164,213 千円
	3 繰入金		3,300	
		1 基金繰入金	3,300	農業集落排水事業債 償還基金繰入金 3,300 千円
3 浄化槽事業 資本的収入			9,975	
	1 出資金		9,975	
		1 一般会計出資金	9,975	元金償還に係る 一般会計繰入金 9,975 千円
資本的収入			422,767	

支 出

款	項	目	予定額 (千円)	備 考
1 下水道事業 資本的支出			395,825	
	1 建設改良費		34,039	
		1 管渠建設費	22,646	管渠等の新設・更新等に要する費用 管渠整備事業 14,738 千円 公共枿新設 3,080 千円 マンホールポンプ更新 4,828 千円
		2 処理場建設改良費	440	処理場の建設改良に要する費用 水質試験室電気湯沸器更新 440 千円
		3 流域下水道 建設負担金	10,953	雄物川流域下水道（大曲処理区）の建設改良に係る負担金
	2 固定資産購入費		1	
		1 有形固定資産購入費	1	
	3 企業債償還金		359,784	
		1 企業債償還金	359,784	企業債の元金償還金 359,784 千円
	4 投 資		1	
		1 基金繰出金	1	基金利子繰出 1 千円
	5 予 備 費		2,000	
		1 予 備 費	2,000	
	2 集落排水事業 資本的支出			210,193
1 建設改良費			5,825	
		1 管渠建設費	4,390	管渠等の新設・更新等に要する費用 マンホールポンプ更新 4,390 千円
		2 処理場建設改良費	1,435	処理場の建設改良に要する費用 高圧区分閉閉器更新 941 千円 流量調整攪拌ポンプ更新 494 千円
2 固定資産購入費			1	
		1 有形固定資産購入費	1	
3 企業債償還金			203,366	
		1 企業債償還金	203,366	企業債の元金償還金 203,366 千円
4 投 資			1	
		1 基金繰出金	1	基金利子繰出 1 千円
5 予 備 費			1,000	
		1 予 備 費	1,000	

款	項	目	予定額 (千円)	備 考
3 浄化槽事業 資本的支出			26,651	
	1 企業債償還金		26,651	
		1 企業債償還金	26,651	企業債の元金償還金 26,651 千円
資本的支出			632,669	

令和4年度仙北市下水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益（△は純損失）	△ 57,065
減価償却費	534,043
長期前受金戻入額	△ 253,288
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 123
賞与引当金の増減額（△は減少）	20
法定福利費引当金の増減額（△は減少）	0
受取利息及び受取配当金	△ 17
支払利息	73,081
未収金の増減額（△は増加）	△ 5,486
未払金の増減額（△は減少）	10,223
その他の流動負債の増減額（△は減少）	1
小計	301,389
利息及び配当金の受取額	17
利息の支払額	△ 73,081
業務活動によるキャッシュ・フロー	228,325

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 26,280
無形固定資産の取得による支出	△ 9,957
受益者負担金による収入	457
基金の積立による支出	0
基金の取り崩しによる収入	3,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 32,480

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	124,400
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 589,795
一般会計からの出資による収入	291,556
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 173,839

資金増減額	22,006
資金期首残高	108,667
資金期末残高	130,673

給 与 費 明 細 書

1 総 括

区 分	職 員 数		給 与 費				法 定 福 利 費 等	合 計
	特別職 (人)	一般職 (人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)	手 当 (千円)	計 (千円)		
本年度	10	4	160	15,952	7,963	24,075	6,939	31,014
前年度	0	4	200	15,560	7,795	23,555	6,700	30,255
比 較	10	0	△ 40	392	168	520	239	759

手 当 の 内 訳	区 分	扶 養 手 当 (千円)	期 末 手 当 (千円)	勤 勉 手 当 (千円)	寒 冷 地 手 当 (千円)	住 居 手 当 (千円)	通 勤 手 当 (千円)	時 間 外 手 当 (千円)
	本年度	360	3,308	2,511	229	0	351	400
	前年度	360	3,260	2,373	229	0	413	800
	比 較	0	48	138	0	0	△ 62	△ 400

手 当 の 内 訳	区 分	特 殊 勤 務 手 当 (千円)	休 日 勤 務 手 当 (千円)	管 理 職 手 当 (千円)	宿 日 直 手 当 (千円)	管 理 特 殊 手 当 (千円)	児 童 手 当 (千円)
	本年度	0	36	408	0	0	360
	前年度	0	0	0	0	0	360
	比 較	0	36	408	0	0	0

2 給料及び手当の増減額の明細

区 分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)		説明	備考
給 料	392	昇給に伴う増加分	392	昇格に伴う増分 315 千円 昇給に伴う増分 77 千円	
		その他の増減分	0	人事異動に伴う減分 0 千円	
手 当	168	制度改正に伴う増減分	△ 50	期末・勤勉手当の減分 △ 50 千円	
		その他の増減分	218	期末・勤勉手当の増減分 236 千円 その他の増減分 △ 18 千円	

3 給料及び手当の状況

(1) 職員 1 人当たり給与

区 分	行 政 職	
令和4年1月1日現在	平均給料月額(円)	331,665
	平均給与月額(円)	358,690
	平均年齢(歳)	48.5
令和3年1月1日現在	平均給料月額(円)	323,434
	平均給与月額(円)	346,207
	平均年齢(歳)	47.5

(2) 初任給

区分	行政職 (円)	一般会計の制度 行政職 (円)
高校卒	149,610	同左
大学卒	181,928	同左

(3) 級別職員数

区分	行政職		
	級	職員数(人)	構成比(%)
令和4年1月1日現在	7		
	6		
	5	2	50.0
	4		
	3	2	50.0
	2		
	1		
	計	4	100.0
令和3年1月1日現在	7		
	6		
	5		
	4	2	50.0
	3	2	50.0
	2		
	1		
	計	4	100.0

(級別の標準的な職務内容)

区分	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級
行政職	部長	次長	課長 参事	課長補佐	係長 主査	主任	主事

(4) 昇給

区 分		合 計	行政職	
本 年 度	職 員 数 (A) (人)	4	4	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	3	3	
	号給数別内訳	2号給 (人)	0	0
		3号給 (人)	2	2
		4号給 (人)	1	1
比 率 (B) / (A) (%)	75.0	75.0		
前 年 度	職 員 数 (A) (人)	4	4	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	3	3	
	号給数別内訳	2号給 (人)	0	0
		3号給 (人)	0	0
		4号給 (人)	3	3
比 率 (B) / (A) (%)	75.0	75.0		

(5) 期末手当・勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率計 (月分)	職制上の段階、職務 の級等による加算措置	備考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
本 年 度	2.100	2.100	4.200	有	
前 年 度	2.150	2.150	4.300	有	
一般会計の制度	2.100	2.100	4.200	有	

(6) 定年退職及び勤奨退職に係る退職手当

区 分	2 0 年 勤 続 の 者 (月分)	2 5 年 勤 続 の 者 (月分)	3 0 年 勤 続 の 者 (月分)	最 高 限 度 (月分)	その他の加算措置等
支給率等	24.586875	33.27075	40.80375	47.709	定年前早期退職者特例 加算(2%~45%加算)
一般会計の制度 (支給率等)	同上	同上	同上	同上	同上

(7) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差異の内容
扶養手当	同一	—
住居手当	同一	—
通勤手当	同一	—

債務負担行為に関する調書

事 項		限 度 額	前年度末までの支払義務発生(見込)額		当該年度以降の支払義務発生(見込)額		左 の 財 源 内 訳	
			期 間	金 額	期 間	金 額	企業債	その他
角館地区 マンホール ポンプ 保守点検 業務委託	令和3年度分	千円 2,970	-	-	令和4年度	千円 2,970	-	千円 2,970
田沢湖浄化 センター 運転管理 業務委託	令和3年度分	35,849	-	-	令和4年度	35,849	-	35,849
農業集落 排水施設 維持管理 業務委託	令和3年度分	16,473	-	-	令和4年度	16,473	-	16,473
林業集落 排水施設 維持管理 業務委託	令和3年度分	2,415	-	-	令和4年度	2,415	-	2,415
水洗便所等 改造資金 利子補給金	令和4年度分		-	-	令和4年度 から 令和8年度 まで	限度額 に同じ	-	限度額 に同じ

令和3年度仙北市下水道事業予定損益計算書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

(単位：千円)

1	営業収益			
	(1) 下水道使用料	178,088		
	(2) 他会計負担金	504		
	(3) その他営業収益	610	179,202	
2	営業費用			
	(1) 管渠費	18,857		
	(2) 処理場費	94,468		
	(3) 浄化槽費	47,557		
	(4) 総係費	45,390		
	(5) 流域下水道維持管理負担金	66,773		
	(6) 減価償却費	531,430		
	(7) 資産減耗費	31,229		
	(8) その他営業費用	1	835,705	
	営業損失			656,503
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	18		
	(2) 他会計負担金	271,438		
	(3) 他会計補助金	148,301		
	(4) 長期前受金戻入	272,434		
	(5) 雑収益	325	692,516	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	83,483		
	(2) 雑支出	8,564	92,047	600,469
	経常損失			56,034
5	特別利益			
	(1) 過年度損益修正益	0		
	(2) その他特別利益	0	0	
6	特別損失			
	(1) 過年度損益修正損	0		
	(2) その他特別損失	0	0	0
	当年度純損失			56,034
	前年度繰越欠損金			26,101
	当年度未処理欠損金			82,135

令和3年度仙北市下水道事業予定貸借対照表
(令和4年3月31日)

(単位：千円)

	資	産	の	部
1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
イ 土地			37,860	
ロ 建物	605,638			
減価償却累計額	△ 46,054		559,584	
ハ 構築物	11,832,466			
減価償却累計額	△ 762,097		11,070,369	
ニ 機械及び装置	1,774,603			
減価償却累計額	△ 210,833		1,563,770	
ホ 器具及び備品	980			
減価償却累計額	0		980	
ヘ 車両及び運搬具	0			
減価償却累計額	0		0	
ト 建設仮勘定			0	
有形固定資産合計			13,232,563	
(2) 無形固定資産				
イ 施設利用権			365,667	
ロ 借地権			2,495	
ハ 地上権			605	
無形固定資産合計			368,767	
(3) 投資その他の資産				
イ 投資有価証券			300	
ロ 基金			58,548	
投資その他の資産合計			58,848	
固定資産合計			13,660,178	
2 流動資産				
(1) 現金預金			108,667	
(2) 未収金		105,966		
貸倒引当金		△ 558	105,408	
(3) 前払金			0	
(4) 貯蔵品			0	
(5) その他流動資産			0	
流動資産合計			214,075	
資産合計			13,874,253	

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良企業債

5,333,686

企業債合計

5,333,686

固定負債合計

5,333,686

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良企業債

589,795

企業債合計

589,795

(2) 未 払 金

90,714

(3) 預 り 金

12

(4) 引 当 金

イ 賞与引当金

1,927

ロ 法定福利費引当金

379

引当金合計

2,306

流動負債合計

682,827

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

6,768,355

収益化累計額

△ 506,146

長期前受金合計

6,262,209

繰延収益合計

6,262,209

負債合計

12,278,722

負 債 の 部

6 資 本 金

1,657,702

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

イ 一般会計補助金

225

ロ 国庫補助金

19,739

資本剰余金合計

19,964

(2) 利 益 剰 余 金

イ 減債積立金

0

ロ 建設改良積立金

0

ハ 当年度未処理欠損金

82,135

利益剰余金合計

△ 82,135

剰余金合計

△ 62,171

資本合計

1,595,531

負債資本合計

13,874,253

令和4年度仙北市下水道事業予定貸借対照表
(令和5年3月31日)

(単位：千円)

	資	産	の	部
1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
イ 土地			37,860	
ロ 建物	605,638			
減価償却累計額	△ 68,729		536,909	
ハ 構築物	11,848,664			
減価償却累計額	△ 1,143,953		10,704,711	
ニ 機械及び装置	1,784,284			
減価償却累計額	△ 322,409		1,461,875	
ホ 器具及び備品	1,380			
減価償却累計額	△ 146		1,234	
ヘ 車両及び運搬具	0			
減価償却累計額	0		0	
ト 建設仮勘定			0	
有形固定資産合計			12,742,589	
(2) 無形固定資産				
イ 施設利用権			357,835	
ロ 借地権			2,495	
ハ 地上権			605	
無形固定資産合計			360,935	
(3) 投資その他の資産				
イ 投資有価証券			300	
ロ 基金			55,248	
投資その他の資産合計			55,548	
固定資産合計			13,159,072	
2 流動資産				
(1) 現金預金			130,673	
(2) 未収金			111,452	
貸倒引当金			△ 434	
(3) 前払金			0	
(4) 貯蔵品			0	
(5) その他流動資産			0	
流動資産合計			241,691	
資産合計			13,400,763	

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良企業債

4,888,633

企業債合計

4,888,633

固定負債合計

4,888,633

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良企業債

569,453

企業債合計

569,453

(2) 未 払 金

100,936

(3) 預 り 金

13

(4) 引 当 金

イ 賞与引当金

1,947

ロ 法定福利費引当金

379

引当金合計

2,326

流動負債合計

672,728

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

6,768,812

収益化累計額

△ 759,433

長期前受金合計

6,009,379

繰延収益合計

6,009,379

負債合計

11,570,740

負 債 の 部

6 資 本 金

1,949,259

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

イ 一般会計補助金

225

ロ 国庫補助金

19,739

資本剰余金合計

19,964

(2) 利 益 剰 余 金

イ 減債積立金

0

ロ 建設改良積立金

0

ハ 当年度未処理欠損金

139,200

利益剰余金合計

△ 139,200

剰余金合計

△ 119,236

資本合計

1,830,023

負債資本合計

13,400,763

注 記 事 項 (令和3年度)

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品 先入先出法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く。）

- ・ 減価償却の方法 定額法による。

建 物	8 ～ 50 年
構 築 物	10 ～ 50 年
機 械 及 び 装 置	10 ～ 35 年
器 具 及 び 備 品	3 ～ 10 年
車 両 運 搬 具	4 ～ 6 年

(2) 無形固定資産

- ・ 減価償却の方法 定額法による。

施 設 利 用 権	20 ～ 50 年
-----------	-----------

3. 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当は、「職員の退職手当に係る取扱いに関する覚書」に基づき、一般会計が負担することとなっているため、退職給付引当金は計上しない。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

4. 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II 予定キャッシュ・フロー計算書等関連

1. 重要な非資金取引 該当事項無し

III 予定貸借対照表等関連

1. 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は6,923,481千円である。

2. 引当金の取り崩し

- (1) 賞与引当金の取り崩し

令和3年度において、期末手当・勤勉手当として5,748千円を支給するため、賞与引当金2,064千円を取り崩す。

- (2) 法定福利費引当金の取り崩し

令和3年度において、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費として1,119千円を支出するため、法定福利費引当金404千円を取り崩す。

- (3) 貸倒引当金

令和3年度において、不納欠損処分に係るものとして貸倒引当金177千円を取り崩す。

IV セグメント情報の開示

1. 報告セグメントの概要

仙北市下水道事業会計は、下水道事業、集落排水事業及び浄化槽事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、下水道事業、集落排水事業及び浄化槽事業の3つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容及び財源情報の内訳は以下のとおりである。

セグメント区分	事業の内容
下水道事業	市街地・市街地外等における、し尿・生活雑排水等の処理、流域下水道
集落排水事業	農林業集落における、し尿・生活雑排水等の処理
浄化槽事業	下水道処理区域外における、し尿・生活雑排水等の処理

2. 報告セグメントごとの営業収益、営業費用、営業損益金額、経常損益金額、資産、負債、その他の項目の金額

(単位：千円)

	下水道事業	集落排水事業	浄化槽事業	合計
営業収益	112,154	38,592	28,456	179,202
営業費用	491,465	267,489	76,751	835,705
営業損益	△ 379,311	△ 228,897	△ 48,295	△ 656,503
経常損益	△ 5,932	△ 54,205	4,103	△ 56,034
セグメント資産	7,697,458	5,729,255	447,540	13,874,253
セグメント負債	7,206,672	4,605,042	467,008	12,278,722
その他の項目				
使用料収入	111,544	38,088	28,456	178,088
減価償却費	299,191	206,424	25,815	531,430
特別利益	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	27,813	18,660	0	46,473

V リース契約により使用する固定資産

1. リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

2. リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

注 記 事 項 (令和4年度)

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品 先入先出法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く。）

- ・ 減価償却の方法 定額法による。

建 物	8 ～ 50 年
構 築 物	10 ～ 50 年
機 械 及 び 装 置	10 ～ 35 年
器 具 及 び 備 品	3 ～ 10 年
車 両 運 搬 具	4 ～ 6 年

(2) 無形固定資産

- ・ 減価償却の方法 定額法による。

施 設 利 用 権	20 ～ 50 年
-----------	-----------

3. 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当は、「職員の退職手当に係る取扱いに関する覚書」に基づき、一般会計が負担することとなっているため、退職給付引当金は計上しない。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

4. 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II 予定キャッシュ・フロー計算書等関連

1. 重要な非資金取引 該当事項無し

III 予定貸借対照表等関連

1. 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は 5,815,687千円である。

2. 引当金の取り崩し

- (1) 賞与引当金の取り崩し

令和4年度において、期末手当・勤勉手当として5,796千円を支給するため、賞与引当金1,927千円を取り崩す。

- (2) 法定福利費引当金の取り崩し

令和4年度において、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費として1,128千円を支出するため、法定福利費引当金379千円を取り崩す。

- (3) 貸倒引当金

令和4年度において、不納欠損処分に係るものとして貸倒引当金123千円を取り崩す。

IV セグメント情報の開示

1. 報告セグメントの概要

仙北市下水道事業会計は、下水道事業、集落排水事業及び浄化槽事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、下水道事業、集落排水事業及び浄化槽事業の3つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容及び財源情報の内訳は以下のとおりである。

セグメント区分	事業の内容
下水道事業	市街地・市街地外等における、し尿・生活雑排水等の処理、流域下水道
集落排水事業	農林業集落における、し尿・生活雑排水等の処理
浄化槽事業	下水道処理区域外における、し尿・生活雑排水等の処理

2. 報告セグメントごとの営業収益、営業費用、営業損益金額、経常損益金額、資産、負債、その他の項目の金額

(単位：千円)

	下水道事業	集落排水事業	浄化槽事業	合計
営業収益	113,300	38,806	28,458	180,564
営業費用	475,510	263,914	78,137	817,561
営業損益	△ 362,210	△ 225,108	△ 49,679	△ 636,997
経常損益	△ 1,628	△ 59,295	3,858	△ 57,065
セグメント資産	7,436,046	5,540,023	424,694	13,400,763
セグメント負債	6,831,038	4,309,372	430,330	11,570,740
その他の項目				
使用料収入	113,260	38,302	28,458	180,020
減価償却費	304,309	203,919	25,815	534,043
特別利益	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	21,886	5,293	0	27,179

V リース契約により使用する固定資産

1. リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

2. リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。